

**北大阪健康医療都市を中心とした
健康・医療のまちづくりの現状と
今後に期待すること**

令和2年2月18日（火）

摂津市保健福祉部

健康・医療のまちづくりの現状【所感】

健都を契機とした市の健康づくり施策の推進

- ・国立循環器病研究センターや国立健康・栄養研究所との連携事業
- ・モデル事業の取組みによる健康意識の向上

地域医療の推進

- ・糖尿病重症化予防事業による病診連携(三師会)
- ・STOP-MIキャンペーン事業の取組みによる救命の連鎖(地域～病院)

産官学連携による健康の取組みの推進

- ・関西大学リビングラボによる健康への関心の高まり
- ・イノベーションパーク進出企業等との連携に向けての機運向上

国立循環器病研究センターとの連携

【平成27年度～現在(例)】 相互の連携・協力に関する基本協定書(H27.4締結)

市民公開講座

脳卒中・不整脈など循環器疾患をテーマとした市民講座

特定健康診査

特定健診（集団）に医師派遣

症例検討会

消防本部と救急症例（循環器疾患）の検討会を実施

糖尿病対策

糖尿病予備群を対象としたセミナー、糖尿病性腎症患者等への食事指導の助言



健都

Heart Safe City

心肺蘇生からの社会復帰率“世界一”を目指す体制づくり

STOP MI

キャンペーン

心筋梗塞による死亡者を減らすため、啓発活動を実施

国立健康・栄養研究所との連携

大阪府健康格差解決プログラム促進事業(フレイル)のモデル市として、フレイル予防のための生活習慣改善プログラム策定に向けて協力。また、市独自でフレイル予防に関する事業を依頼。

平成30年度

- ◇フレイル測定会 (11月 せつ市民健康まつり)
⇒パカチェック 約150名参加
- ◇フレイル予防講座 (3月 介護予防講座)
⇒約200名参加
- ◇フレイル実態調査 (2~3月 アンケート送付)
⇒40歳以上の市民(1万人) 回答率54.6%

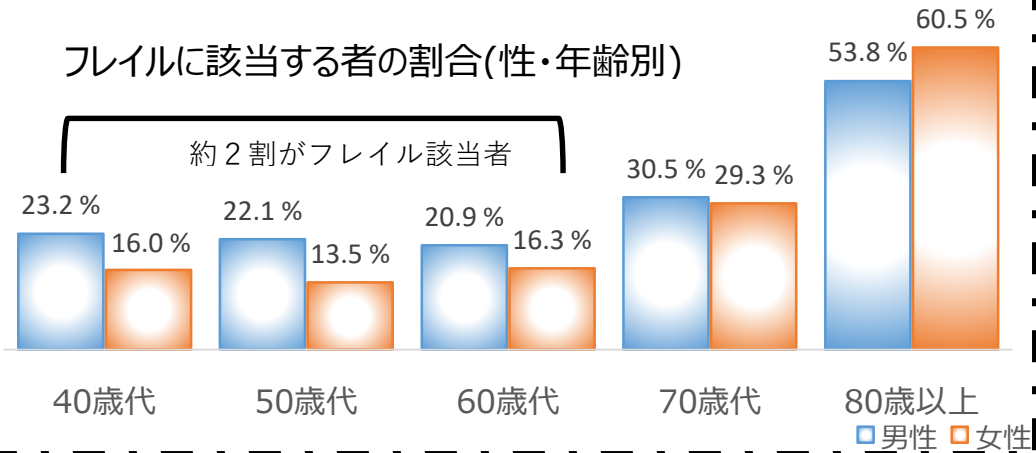
令和元年度

- ◇フレイル測定会・保健指導 (7月)
⇒測定会に約500名参加
フレイル該当者に対して保健指導を実施
3か月後(10月)に効果測定
- ◇フレイル測定会・保健指導 (R2年2月)
⇒特定健診と同会場
- ◇(今後の予定)
フレイル予防講座 (R2年3月 開催)

主な調査結果 (集計中)

- ①中高年(40-50歳代)であっても、フレイルに該当する者が存在
⇒ 働く世代からフレイル予防に取り組む必要
- ②フレイルを知らないほうが、フレイルに該当する割合が高い
⇒ 啓発により予防行動につながる可能性

フレイルに該当する者の割合(性・年齢別)



※ 基本チェックリスト7点以上をフレイル該当と判定。

健都への期待 ①

●全国・世界へ情報発信

●健康意識の醸成と健康環境の整備

●全世代全ての人の健やかな生活習慣形成へのアプローチ

●他の地域に類をみない先進的な取組み

- ・生活習慣病の発症・重症化予防、介護・フレイル予防、認知症予防における具体的事業の推進
- ・モデル事業等によるエビデンスに基づいた効果的・効率的な事業の展開
- ・病診連携、地域医療の推進による様々な段階の健康状態に応じた医療ケアの提供

健都への期待 ②

- 医療圏を超えた病診連携・三師会等とのネットワークによる医療体制
- 最先端医療と地域医療の連携による予防医療の推進
- ヘルスケア産業の創出と活用
- 健都関係機関及び教育機関・企業・団体等あらゆる機関と市民が一体となった取組み

 循環器病をはじめとする生活習慣病の予防・健康づくりに関する先進的なモデル地域を目指す

今後の取組み【健康寿命の延伸】

国立循環器病研究センターや国立健康・栄養研究所との連携によるモデル事業等の取組



市民の健康意識の向上、エビデンスに基づく事業の展開

働き世代からの健康づくりへの意識向上



フレイル予防の取組をさらに推進

次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成の支援



減塩対策「かるしお」と連携

特定健診・各種がん検診の受診体制の確立



啓発、受診機会の拡大

産官学の連携による先駆的な健康に寄与する事業展開



健康を見える化し、行動変容を促進

今後の取組み【地域医療の推進】

モデル事業の取組み
による健康課題の共有



市民の健康課題を
共有し、各機関が
一体となった取組み

医療圏を超えた病診
連携によるネットワー
クの構築(三師会)



生活習慣病の予防・
重症化防止の推進と
在宅医療・地域包括
ケアの推進